

## ■ 展 覧 会 概 要 ■

展覧会名：

南方より、伊東深水から—市川市所蔵「南方風俗スケッチ」

会期：平成 29 年 7 月 28 日（金）～9 月 10 日（日）

会場：中村研一記念小金井市立はげの森美術館

〒184-0012 東京都小金井市中町 1-11-3

開館時間：10：00～17：00（入館は 16：30 まで）

休館日：月曜日

観覧料：一般 500 円，小中学生 200 円

※未就学児および障害者手帳をお持ちの方は無料

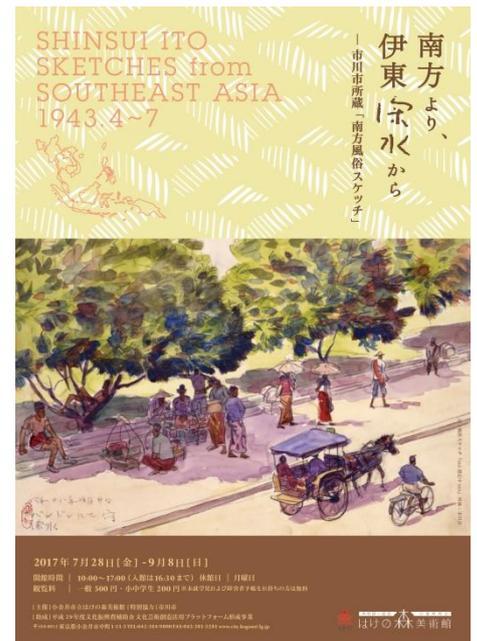
主催：小金井市立はげの森美術館

特別協力：市川市

助成：平成 29 年度文化振興費補助金

文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業

デザイン：Kumi Hitomi [HI company]



1.本企画展メインビジュアル

## ■ 企 画 概 要 ■

1943（昭和 18）年、海軍報道班員として、東南アジアに向かった日本画家・伊東深水（1898-1972）は、目にした風物に感銘を受け、スケッチを制作しました。4 か月ほどの滞在で制作されたスケッチの 270 点ほどが市川市の所蔵になり、《南方風俗スケッチ》と呼ばれています。

伊東深水に限らず、従軍して南方に渡った画家たちは、目にした光景に創作意欲を刺激され、制作を行っています。伊東深水従軍の前年に南方に渡った洋画家・中村研一（1895-1967）も、そうした画家の一人でした。

本展示では占領下の東南アジア諸地域が、日本人画家達からどのような視線を向けられていたのか、一端を市川市所蔵、伊東深水《南方風俗スケッチ》から概観します。併せて当館所蔵の中村研一による南方を描いた作品も出品し、近代の日本画・洋画双方に現れる「南方」の姿をご覧ください。

## ■関連企画■

### 1 雨の日タ立プレゼント

雨の日にご入館頂いた方先着5名様に、当館オリジナルグッズをプレゼントします。受付で「雨の日タ立プレゼント」とご申告ください。

期間：会期中雨天の日に実施

対象：入館者（来館の上、展示をご覧いただく方）

※オリジナルグッズのプレゼントはお一人様につき1点までとなります

### 2 ギャラリートーク

担当学芸員が展覧会の内容や作品について解説を行います。

※事前申込不要・参加無料（要観覧券）

①2017年8月5日（土）14：00～14：30

②2017年9月2日（土）14：00～14：30

### 3 レクチャー&テイスティング あの頃、あの場所のお茶—画家と南方とお茶のあれこれ

伊東深水が南方に向かう二年前の1941（昭和16）年、「愛国製茶」という名の日本茶の製造販売を行う会社が設立されました。画家達が南方を体験していた時期、国内はどのような状況だったのかを「お茶」を通じて覗いてみましょう。併せて日常の中で実践できる気軽なお茶の楽しみ方のポイントも学べます。

※事前申込・参加無料

日程：2017年8月26日（土）13:00-15:00

対象：12歳以上

定員：20名（申込み多数の場合抽選）

参加費：無料

講師：馬場章夫（愛国製茶株式会社代表取締役 社長、全茶連主催「日本茶鑑定士」）

申込方法：お名前・年齢（学年）・電話番号・返信先（Eメールアドレス・FAX番号・住所のいずれか）を明記のうえ、下記までお申込みください。

[E-mail] s030999@koganei-shi.jp

[FAX] 042-381-5281

[郵便（往復はがき）] 〒184-0012 小金井市中町1-11-3 小金井市立はけの森美術館

申込締切：8月18日（金）必着

※1通につき3名までのお申込みとさせていただきます。

※個人情報はイベント参加の連絡以外の目的には使用いたしません。

※Eメールで申込みされる方は、当館からのメール（koganei-shi.jp）が受信できるように設定をお願いします。設定できていない場合、メールが届かない場合がございます。

本展をメディアでご紹介いただける際には、掲載の企画展メインビジュアルなどの参考画像（JPEG形式）をメール添付にて貸し出します。

また紹介メディアの読者プレゼント用に、本展招待券を提供いたします。枚数はご相談ください。